

Baby CEREMONY CALENDAR



赤ちゃん行事カレンダー

赤ちゃんが生まれたらどんなお祝いごとがあるの？
ここでは伝統的なお子さまの健やかな成長を願う行事をご紹介します。

帯祝い(懐妊祝い) 安産祈願 妊娠5ヶ月目

帯祝いはお産の軽い犬にあやかり、妊娠5ヶ月目の戌の日に腹帯を巻いて妊娠を祝いおなかの生命の安全と安産を祈る儀式として行われております。福岡では、祝宴のあと、赤飯にナンテンの葉と塩の包みを添え、親戚に配る風習があります。



お七夜(命名式) 生後7日目



生後七日目の夜に赤ちゃんの命名と健やかな成長を願う行の祝宴が「お七夜」です。命名式や名付け祝いとも呼ばれます。奇数は陽数、陽は万物を生成させるといわれ、七日の夜は産養いといって祝宴が催されてきました。

お宮参り 生後30日前後

赤ちゃんが生まれて初めて氏神に参拝する行事です。土地の守り神である産土神に赤ちゃんの誕生報告と健やかな成長を祈願します。福岡では生後33日が風習となっています。



お食い初め(百日の祝い) 生後100日前後



乳歯が生える生後100日頃に、一生食べ物に困らないようにとの祈りを込めて、赤ちゃんに食べさせる真似をさせる儀式です。福岡では百日の祝(ももかのいわい)と呼ばれます。



初正月



赤ちゃんが生まれて初めて迎えるお正月を祝い、両親、親族を招いてお披露目をします。男の子には破魔弓、女の子には羽子板を家族から贈られることが一般的です。



初節句



赤也んの健やかな成長を祝い、両親、親族を招いてお披露目をします。男の子には五月五日の端午の節句に武者人形、鯉のぼりを、女の子には三月三日の桃の節句に雛人形を贈ります。一般的にはご実家から贈られることが多いようですが、最近は赤ちゃんのご両親、ご両家で相談された上でお祝いをされています。

初誕生の祝い 満1歳の誕生日



赤ちゃんの満1才の誕生日のお祝いです。無事に成長したことを祝いすると同時に、一生(一升)分の苦労をお餅の重さに見立て、力強く歩んでほしいとの願いを込めて餅を風呂敷に包んで背負わせたり、わらじを履かせ踏ませる風習が行われています。福岡では、餅を踏ませた後、そろばんや本、鉛筆、ボールやスプーンなどの中から3つくらい品物を置き、何を選んだかで将来を占う風習もあります。



ぼっぼ膳
4,320円(税込)

七五三 3歳5歳7歳

七五三は、古くからの風習である三才の「髪置(かみおき)」、五才の「袴着(はかまぎ)」、七才の「帯解(おびとき)」に由来するといわれています。「髪置」は男女児ともに行われた儀式で、この日を境に髪を伸ばし始めました。また、「袴着」は男児がはじめて袴を着ける儀式で、「帯解」は女児がそれまでの幼児用の付紐をやめ、大人の帯を締める儀式です。

